

JECA FAIR 2026 製品コンクール 19 回連続受賞！**『opt-C モジュール型データセンター』が
「一般社団法人日本電設工業協会 会長賞」を受賞**

受配電設備メーカーの河村電器産業株式会社（本社：愛知県瀬戸市 代表取締役社長：水野一隆）は、2026年5月27日（水）から5月29日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにおいて開催された第74回電設工業展「JECA FAIR 2026」の製品コンクールにおいて『opt-C（オプトシー）モジュール型データセンター』が「一般社団法人日本電設工業協会 会長賞」を受賞いたしました。受賞は19回連続となります。

【製品コンクール概要】

JECA FAIR 2026 に展示される製品の中から、出展者が事前に応募した出展品について、「JECA FAIR 2026 製品コンクール審査委員会」が技術的観点、社会的貢献度、着想、将来性や市場性等の観点から優れていると評価できるものを審査・選考されるものです。今回で65回目の開催となります。

【一般社団法人日本電設工業協会 会長賞 受賞製品】

第74回電設工業展にて展示した『opt-C モジュール型データセンター』

<背景>

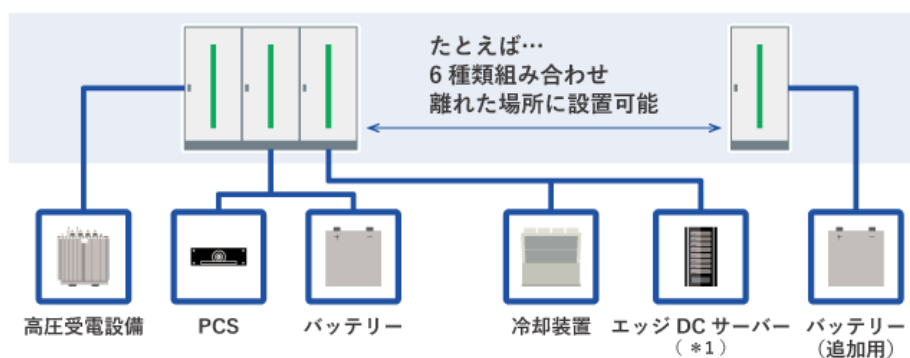
生成AIの普及により、国内ではデータセンター需要が拡大しています。都市部では電力不足が深刻化し、地方においては再生可能エネルギーが余剰となるなど、電力需給の地域差が鮮明になっています。こうした背景から、電力が確保しやすい地域にデータセンターを分散配置する「地方分散型データセンター」の重要性が高まっています。

<課題>

従来のデータセンター構築は、受電設備、バッテリー、エッジ DC サーバー、冷却装置などを複数メーカーから調達し、仕様調整や接続検証をおこなう必要がありました。導入プロセスの複雑化と長期化が大きな課題です。

<製品概要>

今回受賞した『opt-C（オプトシー）モジュール型データセンター』は、受電設備、蓄電池、エッジ DC 用サーバー、冷却装置を一体化し、接続検証を事前に完了した状態で提供する“オールインワン型”のデータセンターです。当社が長年培ってきたキュービクル技術を基盤に、各機器を最適な組み合わせでモジュール化し、現地での調整作業を大幅に削減します。また、用途に応じてモジュールを自由に組み合わせられる構造を採用し、将来的な増設や構成変更にも柔軟に対応できます。電力事情や敷地条件に合わせた最適なデータセンター構築が可能となり、従来の課題である拡張性や設置制約を解消します。



モジュール構造のイメージ

◎ 本件に関するお問い合わせ先

コーポレートコミュニケーション部 広報課 真野

TEL : 070-5374-6802 E-mail : to-mano@kawamura.co.jp